

事業所名 : 居宅介護支援事業所 亀天荘

## 1. 理念・基本方針

運営理念	ご利用者が住み慣れた地域で、健康を保ちながら不安なく生活できることを基本に、亀天荘の居宅介護支援事業所として地域から信頼感を持ち続けて頂けるように努めます。
運営方針	① 介護に関する相談や要望への対応を迅速かつ的確にできる組織体制を確立し、安心して暮らせるサービス提供を行います。 ② 法人の窓口として、法人内各施設・サービス事業所間との連携強化に努めます。 ③ 介護保険サービス、役所・医療機関等の各種関係機関との連携を図ることで、サービスや手続き、健康面の不安を都度解消できる対応に努めます。

## 2. 重点目標

重点目標	ご利用者が住み慣れた地域で生活するために、法人の機能を最大限活用しながら、ご利用者にとって最適かつ有益な介護保険・医療保険・その他各種福祉サービスを円滑に利用できる事業所になります。
年 度 目 標	
①	相談、要望等への対応を迅速に行い、ご利用者やご家族のニーズを的確に抽出する事により、適切なサービス提案を行い早急な問題解決に努めます。
②	法人内各施設の特徴を把握・理解し、ご利用者への情報提供や各種サービス担当者との情報共有、交流を積極的に行います。連携を強化することで、法人が持つ力を最大限発揮してニーズに対応できるようにします。
③	行政機関、医療機関、民生委員等、ご利用者を取り巻く環境を把握し各種担当者との情報共有や交流を積極的に行い、地域で安心して暮らしが出来るように努めます。
④	地域の情報や課題を把握し、地域で暮らす住民が円滑に介護保険サービスや福祉サービスを利用することができるよう、地域への情報発信を常に行います。
中 長 期 目 標	
①	亀天荘の顔として、ご利用者・ご家族・地域住民・法人内外関係者から信頼される事業所になります。

重点目標	医療ニーズの高いご利用者への対応、担当後にご利用者が健康で暮らし続けられる対応ができる事業所になります。
年 度 目 標	
①	亀天会診療所を中心とした医療機関、亀天荘他各施設、医療系サービスとの連携、既往歴等の医療情報の交換を密に行います。信頼関係の構築と適切な医療サービスの提供を行うことで、ご利用者が健康を維持しながら生活できるよう支援します。
②	疾病、薬、予防方法等の勉強を常に行い、発病や進行を防止できる働きかけができるようにします。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の意識向上を図ることで健康維持に努め、悪化時に必要な治療やサービスを円滑に受けられる体制を作ることで、ご利用者が健康に地域で暮らし続けられるようにします。

### 3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域住民の方々が、介護や生活に関する事について相談しやすい雰囲気と信頼感の構築に努めます。
年 度 目 標	
①	地域高齢者との関係を構築する為に、地域行事への参加や高齢者宅への安否確認、見守り訪問を行います。
②	法人内各事業所の主催行事を地域住民に広く周知して頂く為に、地域訪問の際には各事業所の活動について地域へ情報発信を行い、各事業所と地域住民の関係性構築の支援が出来るように努めます。
③	在支主催の地域行事に参加することで、居宅介護支援事業所の活動について理解を深めて頂き、介護や生活に困った時に居宅を活用して頂けるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域の高齢者やご家族から、亀天荘の居宅介護支援事業所として親近感を持って信頼されるようになります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
毎月 1回	高齢者の集い (三芳公民館) 国ちゃんカフェ (国安公民館)	公民館を活用し、地域高齢者との交流の場を作ります。	無料
7月 (第4 土曜)	亀天会盆踊り大会	病院、薬局、公民館、民生委員、スーパー、コンビニ等へも協力を依頼し、催しを通して地域との交流を図ります。	
11月	河北ふれあい祭り	隣保館の河北会館にて毎年開催されており、展示や催し、バザー等を開催しています。高齢者だけではなく、世代間・地域間交流の場を作ります。	無料

4. 研修計画

重点目標	居宅介護支援の専門職として、専門性を活用しながら法人内外の連携を保てるよう、職員のスキル向上に努めます。
年 度 目 標	
①	事業所内での内部研修(居宅サービス会議)を、前年度に引き続き月4回継続して実施します。その際、職員が持ち回りでテーマを設定し、全職員での検討・意見交換を行うことで、知識の向上と情報共有を図ります。
②	職員のスキル・保有資格に応じて、外部研修への積極的な参加を促します。知識向上と情報収集を行い、日々の業務へ反映させるように研修後の情報共有に努めます。
③	AIケアプランに関する研修に参加し、AIケアプランについての知識や技術を向上させ、システムを活用したよりよいケアマネジメントについて考え実行できるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	介護支援専門員としてのスキルを向上させることで、ご利用者、ご家族に対する的確な居宅介護支援を提供します。また、的確な居宅介護支援を提供し続けることで、地域的な信頼の構築・向上を図ります。
②	介護保険の専門職としてのスキルを、特に法人内の連携・業務の円滑化に活かせるよう、各施設・担当者との連携保持に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
毎月 4回	居宅サービス会議	介護保険以外当の制度の把握、疾病等の医療関係情報の確認、居宅介護支援各業務についての確認等。業務に必要な事柄について、職員が持ち回りでテーマを設定し、勉強会を行うことでスキル向上を図ります。	居宅全職員
年4 回 程 度	西条市ケアマネ連絡会	西条市、連絡会役員がテーマを決定する、業務を円滑に遂行するための勉強会に参加することで、スキルの向上を図ります。	居宅全職員
年2 回 程 度	合同事例検討会 (ケアプランセンター共立病院)	外部の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会を行うことで、交流・情報交換と各職員のスキルアップを図ります。	居宅全職員